

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

57021320 A

(43) Date of publication of application: 04.02.1982

(51) Int. CI

A61K 31/13

A61K 31/165

(21) Application number:

55093853

(71) Applicant: CHUGAI PHARMACEUT CO LTD

(22) Date of filing:

11.07.1980

(72) Inventor: **HONDA NARIMITSU**

NAGAI HIDEAKI

HINOHARA YOSHIKAZU **KOIZUMI MASUO MURAKAMI YASUSHI NAKANO HIDEKI**

(54) BLOOD SUGAR LEVEL DEPRESSING AGENT

COPYRIGHT: (C)1982,JPO&Japio

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide a blood sugar level depressing agent containing a specific benzamide derivative as an active component.

CONSTITUTION: An agent containing the compound of formula [R1 and R2 are H, alkyl, (substituted) aralkyl, or (substituted) phenyl] as an active component. The compound of formula has excellent insulin biosynthesis promoting activity and blood sugar level depressing activity. It is effective at a dose of 0.IW100mg/kg for man, and maintains the activity for ≥24hr by the administration of 0.1W100mg/kg, once a day. The compound of formula can be prepared easily e.g. by reducing the corresponding m-nitrobenzoic acid amide by conventional method.

⑩ 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑩ 公開特許公報 (A)

昭57—21320

⑤ Int. Cl.³ A 61 K 31/13 31/165

識別記号 ADP ADP 庁内整理番号 6408-4C 6408-4C 砂公開 昭和57年(1982)2月4日発明の数 1審査請求 未請求

(全 4 頁)

匈血糖降下剤

0)特

願 昭55-93853

②出 願 昭55(1980)7月11日

⑫発 明 者 本多成光

東京都豊島区高田 3 丁目41番 8 号中外製薬株式会社綜合研究所 内

⑫発 明 者 永井秀明

東京都豊島区高田3丁目41番8号中外製薬株式会社綜合研究所

内

砂発 明 者 日野原好和

東京都豊島区高田3丁目41番8

号中外製薬株式会社綜合研究所 内

⑫発 明 者 小泉益男

東京都豊島区高田3丁目41番8 号中外製薬株式会社綜合研究所

内

@発 明 者 村上泰

東京都豊島区高田3丁目41番8 号中外製薬株式会社綜合研究所 内

切出 願 人 中外製薬株式会社

東京都北区浮間5丁目5番1号

個代 理 人 安藤憲章

最終頁に続く

明細 會

1. 発明の名称

血糖降下剂

2. 特許請求の範囲

一般式

(式中、R1及びR2は同一又は異って、水素原子、 直鎖・分岐鎖・環状アルキル基、核に置換基を有 し得るアラルキル基又は置換基を有し得るフェニ ル基を示す。) で表わされる化合物を有効成分と する血額降下剤。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、次の一般式

$$\bigcap_{\mathbf{R}_{2}}^{\mathbf{NH}_{2}} \operatorname{con} \bigcap_{\mathbf{R}_{2}}^{\mathbf{R}_{1}}$$
 [1]

(式中、R1及びR2は同一又は異って、水祭原子、 直鎖・分岐鎖・環状アルキル幕、核に置換差を有 し得るアラルキル基又は置換基を有し得るフェニル基を示す。) で表わされる化合物を有効成分とする血糖降下剤の発明である。

上式 [1] で表わされる化合物の中には、公知の化合物が含まれるが、それらの記載されている先行文献には血糖降下作用ないしそれを示唆する果理作用は全く記載されていない。

上式 (I) で表わされる本発明の化合物は、例えば、以下の参考例に示すように、対応するメタニトロ安息香酸アミド類を常法により還元することにより容易に得ることができる。

必考例.

9、10%パラジウム-炭素0.5 P及びエタノール100 afの混液に水素を通じ、常法により接触 意元する。計算量の水素を吸収接触媒を除去し、 反応液を減圧機縮し、残盗をエタノールより再結 品して無色針状晶のメタアミノーN-イソプロピ ルペンズアミド(化合物1)4.19を得た。融点 148~149℃

元素分析値 分子式 C10 H14 N2 O として

C H

理論值例 67.38 7.92 15.72

突側値(%) 67.35 7.94 15.69

上記と同様にして表1の化合物を得た。

なお、化合物 2 5 , 2 7 及び 2 9 は 抽状で 得 5 れたので表中にハイマススペクトルの値を、 側外 に N M B の値を記載した。



接 - 1 $\left(\begin{array}{c} NH_2 \\ NH_2 \\ R_2 \end{array}\right)$

 J^{n}_{-J}

											
化合物	領換券及び競換位置			融点	収塞	元素分析値					
	R ₁	R ₂	分子式	(3)	(%)	理 C	輪 値 日	(%) N	奥 0	制施	(%) N
2	н	н	C7 H	77~78	8 1	6175	5.9 2	2 0.5 8	6 1.7 1	5.96	2 0.5 5
3	,	он,	C ₈ H ₁₀ N ₂ O	121~122	8 5	6398	6.71	18.65	6392	6.68	1869
4	,	C ₂ H ₅	Og H12 N2 O	70~71	7 6	6 5.8 3	7.3 7	17.06	6 5.7 2	7.2 8	1 7.1 9
5	•	n-03 H̃7	O ₁₀ H ₁₄ N ₂ O	67~58	7 8	6 7.3 8	7.92	15.72	67.25	7.8 8	1564
6	•	#-C4 H9	C11H16N2O	112~113	7 5	6872	8.39	1 4.5 7	68.70	8.3 7	1 45
7	,	sec -O4 Hg	,	109~111	7 4		•		68.67	8.4.4	146
8	,	t - C4 H9	,	126~127	7 9		•		68.69	8.36	1 4.5
9	,	6-04 Hp	,	87~89	7 6		•		68.75	8.4 6	1 4.6
1,0	•	(H)	C13H18N2O	147~148	8 4	7 L.5 2	8.3 1	12.83	71.58	8.35	127
11	€.	-0	C13 H12 N2O	132~133	8 6	7356	5.70	1 3.2 0	73.50	5.67	13.2
1 2	,	- C**,	C14H14 N2O	88~89	8 4	7431	6.24	1238	74.24	6.20	13.4

Ma	慢換蒸及び関換位置			健 点	収率	<u> </u>	, Ā	票 5	#	XX	·
Ma	R ₁	R ₂	分 子 式、	(3)	(%)	理 0	騎 値 H	-	寒		
1 3	н	OCH ₃	C ₁₆ H ₁₆ N ₂ O ₃	83~84	7 6	66.16	5.9 2	N 1 0.2 9	65.98	5.8 8	N 10.35
1 4	,	-CONH3	O14 H13 N3 O2	180~182	5 6	6 5.8 7	5.13	1 6.4 6	65.75	5.18	1 6.5 5
15	•	-CONH2	,	135~136	5 9		•		6 5. 7 9	5.10	1 6.5 2
16	•.	-O-conty	,	223~226	6 8		,		6 5.8 1	5.07	1 6.5 3
1 7	,		C13 H13 N3 O	151~153	7 9	68.70	5,77	18.4.9	6 8. 6 4	5.79	1843
18	,	-€SNH ₂	,	130~131	7 1		,		6 8.7 7	5.70	1 8.5 3
1 9	,	-(-)- NH2	,	150~151	7 4		,		68.75	5. 6 7	1 8.4 2
2 0	•		O 14 H 12 N 2 O 3	231~233	5 9	6 5. 6 2	4.72	1 0. 9 3	6 5.7 1	4.6 6	1 1.0 2
2 1	,	-си,-	O14 H14 N2O	96~97	7 3	7 4. 3 1	6,24	1238	74.25	6.19	1249
2 2	,	-сну-Сн,	C ₁₅ H ₁₆ N ₂ O	94~95	80	7 4.9 7	6.71	1166	74.92	6.75	1 L 6 1
2 3	•	-си2-Оси3	O ₁₅ H ₁₆ N ₂ O ₂	109~110	7 9	7 0. 2 9	6.29	1 0.9 3	7 0.3 4	6.32	10.89
2 4	•	-cnz-C>-ca	OMHI3OFN2O	131~132	6 7	6449	5.0 3	1 0.7 5	6 4.4 2	5.00	10.79

Λh	微視等及び微模位置			75 .		元素分析領			
	R ₁	R ₂	分子式	点 粮	収 郷 (%)	理 Mar Max (MA) C H N	来 Øli (thé) C H N		
2 5	н	-сн2сн2-С.	C ₁₅ H ₁₆ N ₂ O	oil	6 2	ハイマススペクトル 2 4 0.1 2 5 9	(*1) 2 4 0.1 2 4 6		
2 6	он,	СНэ	O ₉ H ₁₂ N ₂ O	87~88	8 2	65.83 7.37 17.06	65.78 7.41 17.12		
2 7	s-03H1	s-03H7	C13 H20 N2O	oil	7 6	ハイマススペクトル 2 2 0.1 5 7 1	(*2) 2 2 0.1 5 8 0		
2 8	6-03H7	6-C3H7	•	179~180	8 0	70.87 9.15 12.72	70.79 9.15 12.78		
2 9	s-04H9	n-04H9	C ₁₅ H ₂₄ N ₂ O	oil	7.4	ハイマススペクトル 2 4 8.1 8 8 3	(*3) 248.1875		
3 0	6-C4H9	i-04 H9	•	85~86	7 9	7254 9.74 11.28	7248 9.79 11.34		

*1: NNR (ODC\$3) 8:7.55~6.40(10H.aromatic-H.-CONH-).3.75(2H.s.-NH2).
3.45(2H.t.J=6Hz.-CH2-).2.75(2H.t.J=6Hz.-CH2-)

*2: NMR (ODOR₃) 3: 7.35~6.50(4H, aromatic -H).3.90(2H.s.-NH₂),3.30(4H,
t.J=6Hz.(-OH₂OH₂OH₃)×2),1.60(4H, sextet, J=6Hz.(
-OH₂OH₂OH₃)×2),0.85(6H, t.J=6Hz.(-OH₂OH₂OH₂)×2)

とのようにして得られる本発明の化合物は、優れたインスリン生合成促進作用及び血糖降下作用を有し、ヒトに対しては 0.1~100 m/kの投与で 2.4 時間以上その効力を持続する。

投与に際しては、通常の製剤化に用いられる慣用手段により所電の剤形に成形された製剤が用い られる。

٠ ٠ ٠ اولا

1群5匹の5選令DDY系マウス(進・体重25~30分)を16時間絶食後、本発明化合物(200呵/何)の水溶液又はけん濁液を経口投与し、20分後にストレブトゾトシン200呵/何を静脈内に投与した。24時間後に心臓から採血し、グルコースオキシダーゼ法により血中糖量を、また、二抗体法により血しようインスリン量を制定した。測定結果を安2に例示する。

なお、 表中の化合物番号は参考例の化合物番号 に対応している。

	血糖值(mg/dl)	血しようインスリン (ロロ/・4)			
投与化合物	mean ± S. E. M.	mean ± S. B. M.			
正常マウス	157± 6	199±40			
なし(対照)	386±21	4 3 ± 2 5			
1	2 2 4 ± 1 9 ***	1 7 6 ± 3 7 °			
2	157±16***	153±46			
3	260±33*	2 1 3 ± 4 8*			
4	2 4 8 ± 4 7 *	1 9 2 ± 5 4			
1 0	263±36*	2 0 1 ± 3 8*			
1 2	265±32*	2 5 3 ± 5 6*			
1 8	166±35***	1 9 0 ± 5 1*			
2 1	150 ± 6 ***	2 2 4 ± 3 0 **			
2 4	193±41**	173±63			
2 5	2 1 0 ± 3 9 **	184±48*			
2 6	267±53	2 2 0 ± 3 7**			

*:P<0.05 **:P<0.01 ***:P<0.001

夹 馬 例 2

 メタアミノベンズアミド(化合物 2)
 100
 部

 リン酸水素カルシウム
 58.5部

 結晶セルロース
 50 部

 コーンスターチ
 40 部

 ステアリン酸カルシウム
 1.5部

これらをよく協合し、常法により1 鏡 2 5 0 号に打錠(有効成分100 号有)し、血糖降下用錠剤として用いる。

寒 應 例 3.

メタアミノ・N・ペンジルベンズアミド(化合物21)の40%水溶液を調製し、1アンブルに2 ml ずつ封入し、減菌して血糖降下用注射剤として用いる。

出顧人 中外製薬株式会社

代理人 安藤 摩

第1頁の続き

⑩発 明 者 中野英樹

東京都豊島区高田3丁目41番8 号中外製薬株式会社綜合研究所 内